

株式会社ユー・メディコ

ユー・メディコは、2006年に大阪大学の教員が中心となり設立した、受託研究・受託分析を主に扱う会社です。
ユー・メディコでは、
「**バイオ医薬品の品質を世界最高レベルにするための最先端分析を提供する**」
というミッションのもと、世界最先端のノウハウやテクノロジーを活用し、安心・安全な医薬品づくりを支援しています。

AUC

-超遠心分析 (AUC)-

AUCは、**バイオ医薬品の凝集体定量**に最も適した手法の一つとして、多くの製薬会社で利用されていますが、測定と解析には豊富な経験を要します。
ユー・メディコでは、これまで蓄積されたノウハウに基づいて、サンプルごとに最も適した分析条件で測定を行い、世界最高水準の解析結果を提供します。



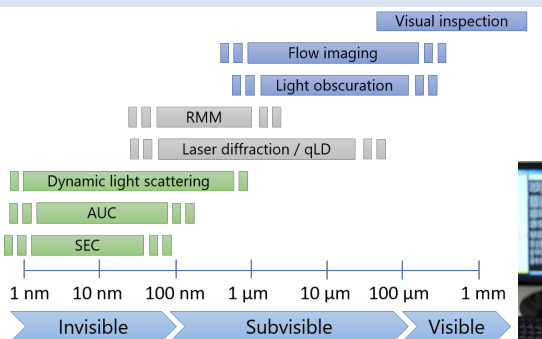
HDX-MS

-HDX-MS-

水素重水素交換質量分析 (HDX-MS) 法は、重水中に存在するタンパク質で生じるアミドプロトンの水素から重水素への交換反応を経時的にモニタリングすることにより、タンパク質の構造変化や、タンパク質間の相互作用部位を明らかにする手法です。
ユー・メディコでは、**HDX-MS**を用いた**エピトープ決定**や、**タンパク質間の相互作用解析**を提供しています。

Particle Characterization

-粒子特性評価-



ユー・メディコでは、**フローイメージング法**を用いた**バイオ医薬品の粒子**の数、サイズ、形状評価をはじめ、様々な方法を用いた粒子特性評価を行っています。

Formulation Development

-処方検討-

バイオ医薬品の溶液中での安定性は、溶液のpH、イオン強度、さらに糖や界面活性剤の存在により制御されています。しかし、全てのバイオ医薬品を安定的に保存できる溶液は現段階では存在せず、実際の製剤化の過程では、これらの組み合わせを網羅的に探索し、最も安定的に保存しうる溶液条件を選択しています。

処方検討サービスでは、様々な溶液条件において、タンパク質分子同士の会合傾向の指標となるコロイド安定性とタンパク質の構造安定性、また数種の条件下での**安定性試験**を、ハイスループットかつスモールスケールで行い、クライアント様が開発したバイオ医薬品に最も適した溶液条件を見出します。

-分析サービス-

Analytical
Services

製薬支援

測定方法	内容
超遠心分析 (AUC) 沈降速度法	凝集・分散度解析、複合体形成解析
超遠心分析 (AUC) 沈降平衡法	分子量・ビリアル係数決定
蛍光超遠心分析 (FDS-AUC)	血清中での凝集・分散度解析、複合体形成解析
サイズ排除クロマトグラフィー (SEC)	凝集・分散度解析、純度測定
フローイメージング法	凝集体の定量
共振式質量測定法 (RMM)	凝集・分散度解析
動的光散乱 (DLS)	分散度解析、粒径決定、コロイド安定性 (分散安定性) 評価、凝集開始温度決定
質量分析 (MS)	精密質量決定、会合状態 (化学量論) 決定
水素重水素交換質量分析 (HDX-MS)	抗原抗体反応のエピトープ決定、立体構造の同一性評価
高速原子間力顕微鏡 (HS-AFM)	溶液中での分子の動態撮影

創薬支援

測定方法	内容
超遠心分析 (AUC) 沈降速度法	凝複体形成解析
超遠心分析 (AUC) 沈降平衡法	相互作用平衡定数決定
蛍光超遠心分析 (FDS-AUC)	血清中での複合体形成解析
質量分析 (MS)	精密質量決定、会合状態 (化学量論) 決定、タンパク質-低分子相互作用解析
水素重水素交換質量分析 (HDX-MS)	抗原抗体反応のエピトープ決定、低分子の相互作用領域決定、タンパク質間相互作用領域決定
等温滴定型熱量測定 (ITC)	相互作用に伴う熱力学的パラメーター決定
表面プラズモン共鳴 (Biacore)	相互作用に伴う熱力学的パラメーター決定

貴社の課題を是非ご相談下さい。
最適な解決方法をご提案致します。

Address: 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1
大阪大学産学共創A棟A207

TEL: 06-6347-1588
Email: info@u-medico.co.jp
URL: <https://u-medico.co.jp>

